

令和4年産

仙台麦作情報

2022・2・15 第3号

宮城県仙台農業改良普及センター

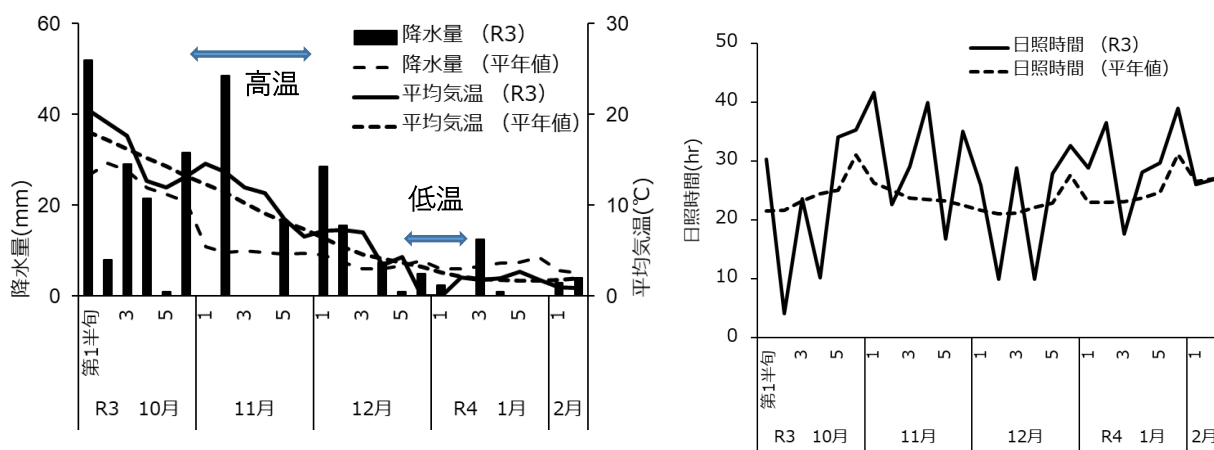
Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

<http://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/>

令和4年産麦作における栽培管理のポイント

(1)排水状況の確認 (2)麦踏み (3)追肥 (4)雑草防除

1 気象経過 (10月第1半旬～2月第2半旬, 仙台アメダス)



- ・播種後～12月中旬までは平年に比べ気温は高い傾向でしたが、年末年始は低温となりましたが、1月第2半旬以降の気温は概ね平年並となりました。
- ・降水量は多くないものの雪の日が続いたことで、麦踏みが難しい場合が多々ありました。

2 大麦生育調査結果 (2月10日現在)

- ・茎数：仙台市では、ホワイトファイバー、シュンライともに400本/m²以上(越冬後の目標茎数)となりました。

大和町では、降雨により播種が遅れたため、前年を下回る176本/m²でした。

- ・幼穂長：仙台市では、シュンライが1月28日に幼穂形成始期を迎えました。ホワイトファイバーは0.9mmで、2月中旬には幼穂形成始期を迎えると考えられます。大和町では、0.3mmで、幼穂形成始期には達していませんでした。

- ・適期播種により、年内に生育が確保されたほ場では、今後の天候にもよりますが2月下旬～3月上旬に幼穂形成期(幼穂長2～3mm)を迎えると考えられます。

表 生育調査ほにおける生育調査結果（令和4年2月8日及び9日調査）

品種	ほ場	条間(cm)	播種時期		草丈(cm)		茎数(本/m ²)		幼穂長(mm)	
			本年	前年差	本年	前年比(%)	本年	前年比(%)	本年	前年差
ホワイトファイバー	大和町落合	34.1	11月1日	+14	6.7	66	176	19	0.3	-0.8
	仙台市宮城野区	26.0	10月24日	+6	11.4	131	765	109	0.9	-0.2
シュンライ	仙台市宮城野区	25.2	10月22日	+2	10.9	112	746	83	1.1	+0.2



大和町ホワイトファイバー



仙台市ホワイトファイバー



仙台市シュンライ

3 今後の栽培管理

(1)排水状況の確認

- 排水が十分でないと湿害が生じやすく、根の組織が痛み、養分が吸収できなくなることがあります。また、分けつの減少や葉の黄化にもつながります。

したがって融雪や降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。

- 「暗きよの再点検（閉じていないか）」や「明きよの手直し」を行いましょう。

(2)麦踏み

- 効果：穂揃いの均一化など
- 実施時期：越冬後雪解けから茎立ちまでに1～2回

（遅くても、大麦：3月上旬頃、小麦：3月中旬頃まで）

今年は降雪により、麦踏みが難しい場合が多いですが、乾いたほ場だけでも茎立ちまでに行いましょう。

⚠️ 下記の状態では逆効果なので、麦踏みは実施しないようにしましょう。
 ①生育遅れで3葉期末満 ②鳥類の食害がある ③ほ場が湿っている

- 「ホワイトファイバー」は、「シュンライ」と比べてやや倒伏しやすいため、必ず麦踏みを実施しましょう。

(3)追肥

【株直し追肥】

- ・「生育量が少ない」・「葉の色が薄い」・「鳥類による食害がある」場合は雪解け後、速やかに株直し追肥を実施しましょう。
- ・効果：茎数の増加，葉色の回復

【幼穂形成期の追肥】

- ・麦類は幼穂長が2mmを超える頃から茎立ちし，幼穂や節間の伸長が急激に進むため，この頃の窒素栄養状態の悪化は有効茎歩合の低下を招きます。下表を参考に追肥を実施しましょう。
- ・効果：穂数の増加 → 幼穂形成期の追肥が最も効果的


 追肥量が多すぎると倒伏の原因となるので，適期・適量施用に努めましょう。

表 追肥の目安

追肥の種類 (生育ステージ)		株直し追肥 (融雪後)	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8～9割が出穂)
目的		茎数の増加 葉色の回復	有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	時期(目安)	2月	2月下旬～3月上旬	4月中～下旬	硬質麦防止のため 実施しない
	10a当たり 施用量	窒素成分1～2kg (硫安5～10kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)	
小麦	時期(目安)	2月	3月中～下旬	4月下旬～5月上旬	5月上～中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分1～2kg (硫安5～10kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)	窒素成分4～5kg (硫安20～25kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)

※時期はおおよその目安です。実際には，ほ場の幼穂長を確認し，追肥時期を判断しましょう。

(4)雑草防除

- ・雑草の発生状況に応じて適宜，除草剤（茎葉処理剤）の散布を検討しましょう。

雑草防除の際の注意

- ・幼穂形成期及び節間伸長期を過ぎると使用できる除草剤が少なくなるので，生育を確認して適期に使用しましょう。
- ・散布後，薬剤が乾かないうちに雨が降ると，薬剤が流れ落ちて効果が劣るため天候に注意して作業しましょう。
- ・薬剤の対象雑草が限られているので，優先雑草を把握し，目的に合ったものを使用しましょう。

○1ヶ月予報（仙台管区气象台 2月10日発表）

向こう1か月(2月12日～3月11日)	平年に比べて晴れの日が少なく、降水量及び日照量は平年並みか多くなる予報です。
1週目（2月12日～2月18日）	気温は平年並か低くなる予報です。
2週目（2月19日～2月25日）	気温は平年並か低くなる予報です。